

平成26年11月29日(土)、30日(日)に山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会がANAクラウンプラザホテル宇部で開催されました。「がん対策基本法」に基づく「がん対策推進基本計画」において、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについて基本的な知識を習得する」ことが目標と掲げられています。この目標達成のため、国が定めた「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき、統一的なプログラムによる研修会を実施しています。

当院の吉野茂文腫瘍センター副センター長の開会の挨拶に始まり、2日間で12時間以上の講義、グループ演習、ロールプレイ形式で行われました。研修内容は、がん性疼痛治療法、身体症状に関する緩和ケア、精神症状に関する緩和ケア、コミュニケーション技術等を含む内容でした。当院から、精神科神経科の松原先生、麻酔科蘇生科の松元先生・原田先生・森先生、看護部の宮内看護師、MSWの高砂さん、また、ペインクリニック山本医院の山本院長、佐藤クリニックペインクリニック内科の平賀先生をファシリテーターとして迎え、当院及び近隣の病院の先生方をはじめ様々な診療科から、20名の参加がありました。

講義、グループワーク、ロールプレイ、どの形式においても様々な意見や質問が活発に出され、参加者の真剣さや意欲の高さを感じることができました。

参加者の先生方からは「在宅支援システムや緩和ケアの治療などは、日頃勉強する機会がなく今回は良い勉強の場となった」「日常診療に使える内容が多く、疑問点の解決にもなり良かった」「補助薬やせん妄等への対応の実際の話が大変有効だった」など多くの意見が寄せられ、有意義な研修会となり無事終了することが出来ました。

《研修会風景》

病院長挨拶



グループワーク風景



ロールプレイ風景



受講者より一言

